

IVR 日本支部運営委員会議事録

日時：2023年7月29日（土）10時00分～12時00分

場所：Zoom；光塩館地下会議室（ハイブリッドでの開催）

出席：足立英彦（支部長）、川瀬貴之、土井崇弘、服部寛、早川のぞみ、福原明雄（会計）、米村幸太郎、戒能通弘（事務局長）

欠席：池田弘乃、横濱竜也

出席（オブザーバー）：宇佐美誠（前支部長）、瀧川裕英（IVR 理事）

報告・審議事項

1. 前回議事録の承認

承認された。

2. 2022 年度会計報告案について

川瀬委員（前会計担当）から、本年度の総会にて審議される 2022 年度会計報告案についての原案が示され、承認された。

また、土井委員から情報提供があり、法哲学会では、郵送によらない会計監査の方法が取られていることが示され、今後、検討されることになった。

3. IVR 理事会について

瀧川 IVR 理事から、IVR 理事についての報告があり、①2024 年 7 月に IVR 世界大会がソウルで開催されること、②2024 年 2 月 15 日を締切りとして、IVR Young Scholar Prize の募集がなされており、35 歳以下という条件を満たしていなくても、博士号を取得して 3 年以内ならば応募できること、③2028 年の開催地にフランスが立候補し、2026 年にはウクライナでの開催が検討されていること、④次期理事長については、理事長選出ワーキンググループで検討されることになったこと、などが報告された。

4. 新入会員／退会者の承認

福原委員より該当者なしとの報告があった。

5. 第 2 回 IVR Japan 国際会議（IVRJ2023）について

プログラム、今後のウェブ対応などについて、以下の点が報告、ないしは承認された。

- 足立支部長から、タイムテーブルについての提案があり、9 時開始にする（終了時刻は、1 日目 17:40、2 日目 17:10）、1 スロット 100 分で、各 25 分の 4 報告）とするというタイムテーブルの案が提示され、承認された

- **Non-Presenter** については、新たな募集はしないことになったが、報告参加者からの同伴参加者の希望等があった場合は、適宜対応することも検討することになった。
- プログラムを 8 月半ばには公開し、参加者にもメールで連絡することになった。

開催校の川瀬委員から、ロジスティックスに関する説明資料に基づき、準備状況が説明された。関連して、以下の点が報告、ないしは承認された。

- 千葉大学での準備の状況や **EasyChair** の仕様に合わせて、報告用スライドのファイルを **USB** メモリに保存して持参すること、希望すればペーパーを **EasyChair** 上に掲載することが可能なことなど、文案を検討して、メールで連絡する。
- 支出についての概算が示されるとともに、ベジタリアン、グルテンフリーなどへの対応が示された。
- ネームタグについては、早川委員が原稿を用意し、川瀬委員が業者に発注することになった。その際、**title**、スポンサーは記さないこと（表面は、氏名、所属、出身国のみ）、裏面に **certificate** を印刷することが確認された。
- 封筒にはプログラム、**Eduroam** のパスワード、プレナリーの原稿などを入れて、参加者に渡すことが確認された。なお、印刷を業者に依頼することも検討することとした。
- ハイブリッドでの参加の希望者への対応として、その時間帯はプロジェクタによって **PC** の画面を映写する、スピーカーフォンを接続するといった対応が示された。
また、次の諸点が報告、ないしは承認された。
- 宇佐美前支部長からベル氏の予定について報告がなされた。
- 面談を希望しているポーランド支部一行については、足立支部長からメールで連絡することになった。
- 9 月 16 日のレセプションでは瀧川 **IVR** 理事、17 日の懇親会では中山法哲学会理事長にスピーチをいただくことになった。
- 運営委員の先生方に、9 月 15 日の受付開始（17:30）まで、できれば 16 時頃までに、千葉大学に参集するよう、足立支部長から依頼があった。

次回運営委員会：11 月 3 日（金）10:00～。対面（同志社大学良心館 107 教室を予定）と **Zoom** のハイブリッドで開催する。